

令和7年度 第1回学校運営協議会（議事録）

日時：令和7年6月7日（土）10:00～12:00

会場：下田高等学校 応接室

【参加者】委員（稲岡・高橋・土屋・山梨・天野）

校長・鈴木事務長

本校（石代副校長・佐藤教頭）・定時（三枝教頭）・分校（稲垣副校長・芝原教頭）

次 第

1 校長挨拶

- ・学校の様子（普通科、理数科ともに広報活動の重要性、部活動男子軟式テニス、女子軟式テニス、陸上競技部で東海大会出場）
- ・学校運営協議会制度について
学校運営への意見をもらい、学校経営計画の承認をしてもらう
今年度は賀茂地区合同個別相談会を開催し、中学生や保護者に対して広報活動を実施

2 自己紹介

- ・参加者各自で自己紹介を行った

3 任命状交付

- ・校長から任命状を委員の方々に手渡した。

4 7年度会長・副会長の選出

- ・互選による選出であるが、稲岡委員から会長の立候補があり承認された。副会長は、稲岡会長から推薦があり、高橋委員が承認された。

【議事】

5 本年度の学校経営計画について

- ・それぞれ、学校要覧の学校経営計画をもとに説明をした。

(1) 全日制

- ・重点目標は、「グローバルで活躍できる人材の育成」「主体的・能動的に学ぶ力の育成」「学校の働き方改革の推進」「信頼される学校づくりの推進」

(2) 定時制

- ・重点目標は「自立心を持った生徒を育てる」「個に応じた丁寧な進路指導」。令和6年度の反省より、基礎学力の定着について改善するために、AI教材を活用した取り組みを始めた。

(3) 南伊豆分校

- ・重点目標は「基本的な生活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生活指導の充実」「地域の特性を生かし、農業の多面性を活用した学習の展開」。

6 学校概況について

(1) 全日制

・地域と学校が連携した活動として、市議会だよりの表紙の作成を行っている。学校行事や、海外での交流体験が充実している。進路実績では、年内入試を活用し、個別指導にも力を入れている。部活動では、文化部も校外の活動に積極的に参加するようになっている。

(2) 定時制

・在籍 26 名で、年々増えている状況。中学時代に不登校を経験した生徒が多いが、出席状況は良い。基礎学力の向上を図るため、ICT を利用した基礎力定着テストを導入。SNS で日常生活の発信を心がける。

(3) 南伊豆分校

・全校生徒 67 名で、年々増加傾向。卒業式を町の施設で開催。地域の方からも祝ってもらえた。企業と共同で餃子の商品開発が進み、販売が始まった。農業を活用した交流をすすめていきたい。

7 意見交換

・登校しぶりの生徒の対応として、地域の活動に参加する事例を紹介。海外で研修する機会とはどういう取り組みか。

・AI 学習、ICT を活用した活動とはどういうものがあるか。

(定時制) AI 学習の教材について具体的に説明

(南伊豆分校) 資格検定、公務員講座など ICT を活用した活動について紹介

(全日制) 普段の連絡の活用例を紹介

・全日制は、地域の力を有効活用してほしい。定時制は、挨拶ができており、楽しく登校できている様子が伝わってくる。南伊豆分校は、賀茂地区でも餃子が販売されることを期待する。

・子どもらしさを伸ばせる教育活動を継続してほしい。地域との連携も継続してほしい。

・本年度の重点目標で特に重視して取り組む項目は何か。

(全日制) 自己肯定感の涵養

(定時制) 「自立心を持った生徒を育てる」「個に応じた丁寧な進路指導」

(南伊豆分校) 地域連携の強化

・賀茂地区ランドデザインの具現化に向けて、準備を進める。

・地域のマスコミに対して取材を依頼している。引き続き、地域と学校が連携している様子を発信していく。

・学校運営協議会で出た意見は、学校経営にできる限り反映していく。

8 事務局より

・今年度の日程について伝える

(1) 第2回の開催日について（案）

令和7年10月2日（水）13:30～15:30 @南伊豆分校

(2) 第3回の開催日について（案）

令和8年2月開催 14:00～16:00 @本校

*開会前、樟耀祭の案内。